

常任委員会の動き

総務委員会

委員会に付託された案件は、十二件でした。

羽生市総合振興計画基本構想の一部改正の審査では、下川崎工業団地について、工業系だけでなく商業系を入れるメリットはなにか、との質疑がありました。

これに対して、広域型の商業施設を立地することにより、



審査結果を報告する
藤田委員長

いままでは消費が市外へ流出していたが、市外の消費を市内に呼び込むことができ、中心市街地活性の起爆材となる、との答弁がありました。

また、工業団地による税収

はどのようか、との質疑に対し、工業系・商業系とも土地建物の固定資産税が市に入ってくるほか、新設する道路については、交付税算入されることになる、との答弁がありました。

これらの審査の結果、議案十二件はいずれも原案の通り可決すべきものと決しました。

文教民生委員会

委員会に付託された案件は、議案が九件でした。

平成十六年度一般会計予算の審査では、児童福祉費において、保育所の運営について民間委託も含めた今後の方針はどのようか、との質疑がありました。

これに対して、公立保育所は地域の児童福祉の拠点施設として、重要な役割を果たしていると考えており、現在の

ところ統合や民間委託は考えていない。しかし、公設民営について、試験的、部分的に検討していきたい、との答弁がありました。

また、衛生費において、汚泥再生処理センター整備事業



審査結果を報告する
森田委員長

二十一億円の内訳はどのようか、との質疑に対し、本体十八億九千万円、他は周辺整備の付帯工事費である、との答弁がありました。

これらの審査の結果、議案九件はいずれも原案の通り可決すべきものと決しました。

産業建設委員会

委員会に付託された案件は、議案が十一件でした。

平成十六年度羽生都市計画下水道事業特別会計予算の審

査では、公共下水道費において、下水道事業基本計画変更業務等委託料が計上されているが、基本計画変更業務の内容はどのようか、との質疑がありました。

これに対して、中川流域の整備計画の変更や新たな開発区域が出来るなどの要因により、流入水量の原単位が変更になるが、この原単位の変更に伴う変更業務委託である。

この基本計画の変更は、国庫補助対象事業の基準となる重要なものであり、今後も数年ごとに見直しをしていく必要がある、との答弁がありました。



審査結果を報告する
蜂須委員長

委員会ではこれらの審査の結果、議案十一件はいずれも原案の通り可決すべきものと決しました。



次の議会は、六月定期市議会が六月九日頃開かれる予定です。

会議は、午前十時から開かれます。一般質問や議案質疑など活発な議論が展開されます。ぜひ、傍聴にお出かけください。なお、傍聴される方は、携帯電話の電源をお切りくださるようお願いいたします。

議会だより編集委員会

- 委員長 石森 正雄
- 副委員長 丑久保 恒行
- 委員 藤田 肇
- 委員 森田 常
- 委員 蜂須 直巳

ご意見などを

編集部まで

☎048(561)1121

(内線)512